

◇ 9月の天文暦 ◇

日時	記	事
3 5	水星 外合	
5 0	上弦	
6 12	月 最遠	
8 4	白露 (太陽黄経 165°)	
13 0	望	
16 20	火星 月の 8°S 通過	
19 22	火星 留	
20 1	下弦	
21 7	月 最近	
23 13	秋分 (太陽黄経 180°)	
26 23	朔	
28 23	木星 留	

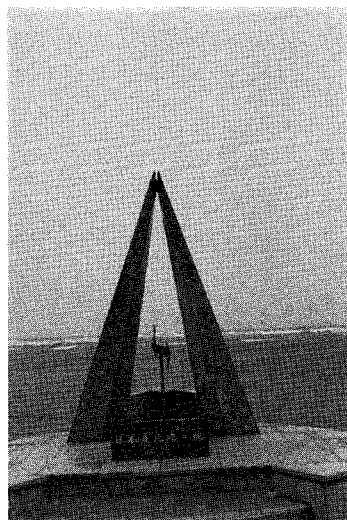
☆ 原点めぐり ☆

日本最北端の三角点

日本列島の最北端で稚内市の東北、宗谷岬のつけ根のところに一等三角点“宗谷山”がある。1907年（明治40年）に陸地測量部平木技師が宗谷岬のこの位置に一等三角点として選定して以来60年余にわたって基準点としての権威を保っている。かつては樺太に続く一等三角網



の宗谷海峡における南側の中継点としても重要な役割を果たしたこの三角点が戦後は日本における最北端の一等三角点として、さい果ての地のなだらかな丘陵状の熊笹の山頂に、花崗岩標石に託して緯度45°28'53"0620 経度 141°53'55"6822 の位置を示している。



つまり日本経緯度原点で現実の地球と接合した準拠楕円体上に、一等三角網の最北端の宗谷山三角点を観測成果にもとづいて投影すると前述の経緯度が求められることになる。もっとも花崗岩標石の現在の位置は、1967年に再び観測された一等三角測量の観測成果から60年間の地殻変動により東南方に約2m 変位していると考えられている。これらのことも勘案して、日本列島の地殻変動を調査する北海道東部の高精度トラバース路線（国際地球ダイナミクス計画）の終着点もこの宗谷山三角点にすることになっている。

ついでながら、一等三角点ほど権威はなくとも文字どおり最北端の三角点が外にないか、ということなれば実は戦後派で多少権威は落ちるが1952年（昭和27年）に地籍測量の基準点として設けた四等三角点“大岬”が宗谷岬の先端“日本最北端の地”の記念碑からあまり遠くないところにある。眼下に宗谷海峡があり、晴れた日にはソ連領樺太がよく見える。ここは緯度 45°30'43".2101 経度 141°56'23".5681 で、宗谷三角点より約5 軒北方の正に日本最北端の三角点ということになる。

(国土地理院 斎藤 博)

